



YMNだより

平成29年12月27日 第43号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN 代表 大津 清)
涵養塾(山形市清住町)内 YMN 事務局

第1回電動義手教室を開催しました

平成29年12月17日(日)午前10時30分より、山形県産業科学館4階 発明工房において、山形大学大学院理工学研究科准教授川上勝先生等を講師に迎えて、国内初めての「電動義手教室」のワークショップを開催しました。

参加者は3グループ(小学生1グループ、山形東高生1グループ、長井工高生1グループ)の合計9名です。

なお、これは、子どもゆめ基金助成活動「創造力を発揮しよう! ~ロボット教室・電動義手教室~」の一環で実施しました。電動義手を開発しました近藤玄大氏から右図のメッセージをいただきました。ありがとうございました。

今回は、平成30年1月28日(日)午前10時30分より午後4時30分まで、山形県産業科学館2階フリースペースで、今回製作した電動義手の紹介デモや実演会を行います。参加料無料です。お越し下さい。

皆さんありがとうございました。

●『電動義手作りに挑戦 小学生ら9人楽しむ』 朝日新聞平成29年12月18日付

●『3D使いパーツ 電動義手作れた』 山形新聞平成29年12月23日付



「HACKberry」を開発された近藤玄大氏からのメッセージ
電動教室の開催に向けて

僕がHACKberryを開発した目的は、義手に「気軽な選択肢」を与えたかったからです。これまで義手には手がないことを隠すための黒色のものしかありませんでした。しかし、きっとメカや電とおなじように、義手にも個性や使う場面に応じて様々なデザインがあってもいいはず。僕がこうに考える動機としては、もちろん、手のない人に「使う喜び」を届けたいという気持ちもありますが、それだけでなく、「手のある人にも「つくる喜び」を伝えたい」という気持ちも含まれています。義手に限らず、これからの次代、ものづくりはどんどん簡単になり、料理をつくるような気分であつたものをつくれるようになります。そのきっかけとして、HACKberryづくりを楽しんでもらえと嬉しいです。

第2回ロボット教室を開催しました

去る平成29年11月12日(日)午前10時30分~午後4時30分に、山形県産業科学館2階フリースペースにおいて、平成29年度子どもゆめ基金助成事業「創造力を発揮しよう! ~ロボット教室・電動義手教室」の第2回ロボット教室を開催しました。

内容は、第1回ロボット教室で製作したレゴマインドストームなどを紹介しながら、次のことを行いました。

- ・迷路探査ロボット「マイクロマウス」のデモ走行と解説
 - ・WRO2017小学生エキスパート部門出場ロボットのデモ走行と解説
 - ・レゴマインドストームによる簡単なロボット製作とプログラミングの実演
- 参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



山形市市民活動支援センター機関誌に記事掲載

山形市市民活動支援センターの下記の情報誌にYMNの記事が掲載されました。

1. 「とびあす」vol. 35に記事掲載

平成29年8月6日(日)に山形市市民活動支援センター高度情報会議室で「Scratch&Kinectプログラミング教室」を開催しました。この記事が山形市市民活動支援センターだより「とびあす」vol. 35、2017年9月15日発行に掲載されました。

2. 月刊誌「んーぼ新聞」に記事掲載

山形市市民活動支援センター月刊誌「んーぼ新聞」vol. 104、2017年8月15日発行の登録団体のつなぐコラムにやまがたメイカーズネットワークの紹介記事が掲載されました。

山形市の市民活動のご紹介

*詳しい内容は当センターのウェブサイトをご覧ください

やまがたメイカーズネットワーク

やまがたメイカーズネットワークは、教育界・産業界・行政等関係機関の有志が連携し、ものづくりを通じて、やまがたの次代を担う人材を育成することを目的に活動しています。今回、プログラミングの基礎を学び、理解を深めらるとう、Scratch(以下スクラッチ)とモーションセンサーKinect(以下キネクト)を組み合わせたプログラミング教室が開催されました。この講座の最終目標は、学んだことをもとにゲームを制作し、山形市内の高齢者施設に持参し、お年寄りと一緒に楽しむことです。午前中は、「スクラッチ」の使い方を学びました。午後からは、モーションセンサーである「キネクト」

Scratch と Kinect プログラミング教室

平成29年8月6日(日)

を活用する方法を学びました。スクラッチと組み合わせ、人の動きを読み取り、画面のキャラクターに同じ動きをさせます。

その後は、ゲーム「ブロックくずし」を制作しました。大人も子どもも短時間にゲームを完成させることができた。あとは参加者がそれぞれアレンジして、お年寄りの皆さんと遊ぶように準備します。

皆さんが制作したゲームでお年寄りの皆さんに楽しんでいただくためには

いずね。(栗田)



●連絡先: やまがたメイカーズネットワーク
info@ymn.or.jp
023-627-0300

「やまがたメイカーズネットワーク」は、本県の教育界、産業界、関係機関等の有志が連携し、やまがたの次代を担う「人財」を育成するための教育活動を展開・支援するために2014年度に設立しました。今年で4年目です。主な活動は、県内企業などの技術協力のもと、手作りの3Dプリンターを県内の教育機関100校に贈るプロジェクトです。導入校では、教材作成やさまざまな活動に活用しています。この取り組みは、全国的にも例がなく、「ものづくり白書」にも掲載され、注目されています。活動範囲が広がり、東日本大震災支援として、福島県立小高工業高校などで研修会を行い、さらに、海を越えて、ハンガリー・シエナでも実施しました。今年度は、大型3Dプリンターの製作や3Dプリンターで部品を作る電動義手教室やロボット教室などを実践していく予定です。よろしくお問い合わせください。

登録団体のつなぐコラム

やまがたメイカーズネットワーク

代表 大津 清 さくら